協働のまちづくりネットワークみどり環境Group

「みよしグリーンサポート隊」活動シート　No.171

1 日　時　令和8年10月18日(日曜日) 9:00～12:00
2 活動場所　清水林(A地区)
3 集合場所　緑地公園前(三芳町運動運動公園グラウンド東側)
4 活動目的　明るく安全な景観林に
5 活動内容　枯損木等の伐採、枯枝集め等の林内整備
6 作業レベル　中級
7 担当世話役　原
8 道　具　ヘルメット、手袋、マスク、ノコギリ、紐、救急箱、運搬車
9 荒天対応　急な雨、又は強風のときは、中断・中止とします
10 トイレ着替　芝生公園又は弓道場トイレ

タイムスケジュール

8:30　受付
8:50　世話役・関係者打ち合わせ
9:00　集合
9:05　開会、出欠確認、作業説明ほか
　　ストレッチ
9:15　作業開始(適宜休憩)
11:30　作業終了・用具確認
11:40　終了

作業内容

①折れ枝や枯れ枝の収集

・林内の太さ10cm未満の折れ枝や枯れ枝を、1m以内の長さで集め、紐でしばって、道路沿いの柵の内側に置いてください。本日はダンプに積込しませんが、後日環境センターへ搬出します。
・太さ10㎝以上の枝は、環境センターでは処理できませんので、林内に積み置きます。

②枯損木等の伐採

枯損木の伐採や、樹木の間隔が狭く生育が良くない樹木の間引きを行います。
・伐倒隊の皆様にチェーンソーで伐採してもらいます。
・伐倒後に手鋸を使い、枝払いをしてください。
・枝払いした枝は、折れ枝と同様に収集もしくは積み置きしてください。

③散策路ロープ柵杭の修理

経年劣化で折れてしまったロープ柵の杭を修理します。
・末口70φ長さ90㎝の杭を40㎝地面に打込みます。
・打込んだ杭の上から5㎝のところにロープを通す穴をインパクト(φ13)で開けます。
・開けた穴にロープを通します。
[必要な道具]
杭・ロープ・Wスコップ・大ハンマー・カッター・ビニールテープ・コンベックス・マジック など

秋に気を付けたい雑木林歩き

毎年この季節は、雑木林を歩くと靴やズボンにくっつく所謂「ひっつきむし」。トラスト地でも何種類か見かけます。今日はそんな「ひっつきむし」の話。

意外と知らないひっつきむしの名前

皆さんが「ひっつきむし」と聞くとどのようなものを想像するでしょうか？
①丸くとげとげがびっしりついている？
②半月状でべたべたくっつく？
③細長く棘がチクチクする？
すべて総称してくっつき虫と呼ばれていますが、それぞれ①オナモミ、②ヌスビトハギ、③センダングサといった名前があります。それぞれ種子となっており、動物の毛皮にくっつき種を遠くまで運ぶために進化した植物です。

取り除くのが大変！？裏技を教え☑・・・！

たくさんくっつくと取るのが大変ですよね。いくつか取り方を紹介します。
まずは軍手やタオルでこする方法。使わなくなった古いタオルや軍手を丸めて服の上から押しあてるようにこすります。オナモミやヌスビトハギはこの方法でよく取れます。
次は、ウエットティッシュや使い終わった不織布マスクでとる方法。そのまま上からなぞるだけで、より細かい繊維のウエットティッシュやマスクに種子が移ります。取れたらそのまま捨てられるので便利です。
最後は、ペットボトルを加工してこそぎ落とす方法。加工の時にカッター等を使うので怪我には注意しましょう。ペットボトルの側面を四角く切り取り、切った部分でこそぐようにカリカリします。取れた種はペットボトルの中に残るので、室内で散らかしたくないときに便利です。

次回活動
日 時　令和8年11月15日(日)
　　午前9時～正午頃まで
場 所　トラスト14号地(県有地)(C・D**地区**)
内 容　林内整備